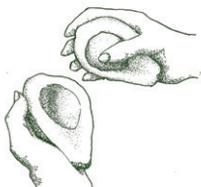


アボカドの育て方



詳しい育て方はこちらから →

1.

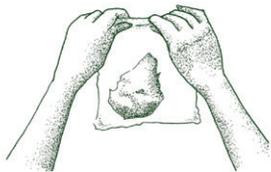


アボカドを食べた後、種を取り出して下さい。。種子の表面をぬるま湯で洗いやさしくこすって、果肉や茶色い外皮を取り除きます。

ぬるま湯を入れたグラスまたは瓶に種を入れ、48時間浸します。グラスまたは瓶は暖かい場所で保管してください。48時間後、種子を水から取り出します。その後、キッチンペーパーを軽く濡らし種を包んでください。

※アボカドは熱帯植物で、低温には弱いので、冷水を使用しないようご注意ください。

2.



種を包んだペーパータオルを再利用可能なジッパー付ポリ袋に入れて密封してください。ポリ袋は暗い場所で室温で保管してください。暗闇の中で下向きに伸びた根は、上からの光に邪魔されることはありません。

キッチンペーパーが常に湿っていることを確認するため、3-5日ごとに種子をチェックするようにしてください。

種の根元から発芽する主根を探します。辛抱強く待ってください。発芽の兆候が現れ始めるのを待つのは、種子の成長過程で最も楽しい時期です。

キッチンペーパーは定期的にもるま湯で濡らし、常に湿らせてください。通常、種子は18-25°Cの温度で発芽します。

3.



2-3週で種子の外層が乾燥し出し剥離し始めます。その後種子が上下に裂け始め、種子の根元に主根が開始めます。主根が現れたら、種の発芽は成功です。

根が成長したら、花瓶に種を置き、根の部分に浸る程度水を入れてください。根が乾燥しないよう水位の変化を確認しながら、花瓶の水を毎週または2週間に1回補充してください。根の成長よりも速く水が蒸発する可能性があるため、初期段階では特にご注意ください。

※4-6週間経っても主根の兆候が見られない場合は、新しい種からやり直してください。